



旭川市（有）キョクトー 『レトルトとうもろこしをアジア圏へ』

【主な品目】

レトルトとうもろこし

【主な輸出先国・地域】

台湾、香港、シンガポール、マレーシア

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 平成15年、卸売業者からの要望で国内で人気の「ピュアホワイト」を台湾で販売。
- ◆ 台湾、香港、シンガポール向けにロゴマークを商標登録。北海道マークも入る。
- ◆ 令和2年マレーシア、令和3年アメリカへの間接輸出開始。

【輸出実績】（平成15年より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和3年	3,400	45	通年
令和2年	3,400	45	
令和元年	3,000	40	

※輸出先国が増え、少量ではあるがとうもろこし以外の商品も輸出することができた。



輸出するレトルトとうもろこし

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 令和3年はとうもろこしの受粉の時期に異常気象（6月～7月：26日間30℃以上の高温と水量不足）となり、令和2年の75%減の収穫量となった。また、コロナ禍は治まらず、国内における販売は非常に厳しい状況となっている。しかし、輸出先国への販売数量は昨年と同量を輸出することができ、アメリカ合衆国へ間接的に輸出することができた。
- 輸出当初は「ピュアホワイト」のみを台湾で販売していたが、売れ行きは良くなかった。台湾では黄色のとうもろこしが人気ということを知り、黄色の「ミエルコーン」も並行して販売するようにしたところ、現地消費者からは好評を得て、どちらも人気商品となった。平成30年ロゴマークを取得した。



とうもろこしの播種

【今後の課題・展望】

- 令和3年は真空機設備・HPをリニューアルした。気候変動にもよるが、今年はどうもろこしと他の商品群の生産・加工品増量を図り、輸出に繋げていきたい。
- オンライン商談会等に参加して、弊社商品群をアピールしていきたい。

【活用した支援・施策】

【ウェブサイト】 <http://asahikawa-kyokuto.jp/>

【連絡先】 担当者名：中島新吾 TEL：0166-57-5779



とうもろこし圃場